

2. 環境保全取り組み事項

項目	単位	2005年度	2006年度	増減
太陽光発電量	kwh	43,600	41,500	-2,100
排水再利用量（中水等へ）	m <sup>3</sup>	360	416	+56

3. 産業廃棄物のリサイクル

年度	単位	総排出量	リサイクル量	リサイクル率
2006年度	t	49,363	35,678	72.3%

4. 環境保全コスト

環境省のガイドラインを参考に環境に関する支出の費用を費用額と投資額に分けて集計しました。（単位：百万円）

項目	小分類	主な取り組み内容	費用額	投資額
1. 事業エリア内コスト	(1) 公害防止コスト	排水処理設備、排ガス処理設備の維持管理等	170.04	131.28
	(2) 地球環境保全コスト	省エネルギー（節電、焼却炉燃料削減、車両燃費向上）	4.08	93.00
	(3) 資源循環コスト	産業廃棄物処理委託	173.35	37.47
2. 上・下流コスト		—	0.00	0.00
3. 管理活動コスト		ISO14001 定期審査、環境報告書作成	30.81	0.00
4. 研究開発コスト		貴金属精製工程の合理化、廃液処理	187.95	0.00
5. 社会活動コスト		工程の効率化等	1.77	0.00
6. 環境損傷対応コスト		地域の清掃活動	0.00	0.00
総計		—	568.00	261.75

1. 省エネルギーへの取り組み

1.1 重油

焼却炉運転の適正化による燃料削減

静岡工場及び北九州工場の焼却炉において、適正な運転管理を行うことにより、重油燃料の原単位削減に取り組んでいます。  
原単位＝使用燃料(L) / 焼却量(tまたはm<sup>3</sup>)

拠点	2005年実績 原単位	2006年実績 原単位
静岡工場 廃油焼却炉	70L/m <sup>3</sup>	68L/m <sup>3</sup>
北九州工場 廃プラスチック焼却炉	27L/t	20L/t

1.2 用水

排水を再利用

2006年6月に、電子材料からの貴金属回収工場として稼動した尼崎工場では、排水を中水として再利用(リユース)しています。また、従来よりテクノセンターにおいても、排水の再利用を行なっています。

全社排水リユース量	416m <sup>3</sup> /年
尼崎工場分	56m <sup>3</sup> /年：(全体の13.5%)

1.3 薬品使用量の削減

排ガス処理装置の薬液使用量削減

愛媛工場では、排ガス処理装置に使用する薬品量を、ガス濃度に応じて適正量添加することにより、継続して削減に取り組んでいます。

	2005年度実績	2006年度実績	削減量(2006年度)
亜塩素酸ソーダ	9,600kg/年	2,400kg/年	7,200kg
チオ硫酸ソーダ	10,600kg/年	9,100kg/年	1,500kg

アサヒプリテック環境報告書 2007

Environmental  
Report  
2007



 アサヒプリテック株式会社

アサヒプリテック株式会社

お問い合わせ先: 経営企画部 TEL(03) 6270-1817

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サビアタワー

環境安全管理部 TEL(078) 333-5675

〒650-0001 神戸市中央区加納町 4-4-17 ニッセイ三宮ビル

ホームページアドレス <http://www.asahipretec.com>

発行: 2007年 5月 (次回発行予定: 2008年 5月)

 古紙配合率 100% の再生紙を使用しています。

 VOC  
FREE

揮発性有機溶剤を含まない植物油 100% の  
【植物性インキ】を使用しています。



有害な水を出さない水なし印刷方式を  
採用しています。